※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで習得した基礎的な技法や内容を発展させ、より複雑な表現方法を使って自分らしい世界を追求していくことを目標とします。美術Ⅰで用いなかった素材や道具も使用し、新しい表現技法の獲得をめざします。
・自分の作品について表現の意図や考えたことを他者に伝えること、また、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有し、自分の制作に生かすことができるような「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション・消しゴムデッサン	【絵画】【鑑賞】 ・オリエンテーション 「美術Ⅱ」の年間の学習イメージをつかむ。 ・「消しゴムデッサン」 鉛筆で画用紙を真っ黒に塗り、下地を作る。 音楽からイメージを深め、練り消しで描いていく。 ・完成レポート ・鑑賞レポート 自身の制作の意図について、考えを整理する。	a:(技能) 鉛筆の特性を生かして、タッチや陰影で多彩な表現ができる。 a:(知識) 形や黒の濃淡などが感情にもたらす効果や全体のイメージで捉えることを理解している。 b:(発想や構想) 音楽からイメージを深め、自分の想像する世界を抽象的に表現している。 b:(鑑賞) 自分の作品のよさと美しさを感じ取り、他者の作品についても造形的な見方を深め、伝えることができる。 c:(表現・鑑賞) 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 c:(表現)新しい表現方法に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。	作品 完成レポート 鑑賞レポート	作品 鑑賞レポート	活動の様子 作品 完成レポート 鑑賞レポート 学習の記録簿
	コラージュ	【絵画】【鑑賞】 ・技法の表現の特性を理解し、伝えたいイメージを明確にする。 ・素材集め ・コラージュする 伝えたいイメージに基づき、構成や配置、全体のバランスなど、よく検討する。 ・完成レポート、展示 ・相互鑑賞 ・鑑賞ワークシート	a:(知識) 形や色彩、素材が感情にもたらす効果や全体のイメージでとらえることを理解している。 a:(技能) 主題に必要な素材を精選し、効果的に配置している。仕上がりが美しい。 b:(発想や構想) 伝えたいイメージと作品に込めるメッセージを明確に持ち、イメージを深め、構成など工夫して自分らしい表現を自由に追求している。 b:(鑑賞) 自分や他者の作品についてよさや美しさなどを感じ取り、表現の意図や表現の工夫について、感じ取ったことを説明することができる。 c:(表現) コラージュによる表現方法に興味を持ち、その技法を使って自分のイメージする世界を追求しようとしている。 c:(鑑賞) 作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、共感している。自分の作品についても考えや想いを伝えることができる。	作品 鑑賞 ワークシート 完成レポート	作品 鑑賞 ワークシート 完成レポート	活動の様子 作品 鑑賞 ワークシート 完成レポート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	本物そっくり？ギョッとペン	【彫刻立体】【鑑賞】 ・造形 モチーフ(うるめいわし)をよく観察し、石粉粘土を使って造形する。ボールペンの芯を芯材とする。 ・着色、ニス塗り モチーフをよく観察し、アクリル絵の具で着色する。仕上げにニスを塗る。 ・完成レポート	a:(技能) 粘土の特性を理解し、道具を適切に使用して表現に生かしている。 a:(技能) 絵の具を混色し、モチーフの持つ色彩を再現している。 b:(発想や構想) モチーフをよく観察し、形体や色彩について本物に迫るための表現の工夫と構想を練っている。 b:(鑑賞) 自分の作品の表現で工夫したところや成功しているところを説明でき、他者の作品のよさや表現の工夫を見つけている。 c:(表現・鑑賞) モチーフの特徴を捉え、表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿
	鑑賞カードを使って	【鑑賞】 ・適当に引いた鑑賞カードをもとに、それぞれが作者や作品について調べ、ワークシートにまとめ、発表・紹介する。	a:(知識) 造形的な見方、考え方を働かせて作品を鑑賞し、造形的な特徴を捉え、それらの働きを理解している。 b:(鑑賞) 自分の調べた作品についてわかりやすく、他者が興味をもって見ることができるようなワークシートを作成している。 b:(鑑賞) 美術作品のよさや美しさ、表現の特徴、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考え方について自分の考えを持つことができている。 c:(鑑賞) 美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作者の想いや作品について理解しようとしている。	鑑賞 ワークシート	鑑賞 ワークシート	活動の様子 発言の内容 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	植物クロッキー・葦ペンを使って	【絵画】【鑑賞】 ・線のワーク ①いろいろな音からイメージした線を葦ペンで表現する。 ②いろいろな言葉からイメージを深め、葦ペンで表現する。 ・本制作 目の前のモチーフをしっかり観察し、葦ペンでクロッキーをする。 ・展示と鑑賞 互いの作品を紹介しあい、他者の作品から作者の意図、創造的な表現の工夫などを理解し、感じ取る。	a：（技能） 墨と混ぜる水の量の違いによって変化する線の効果を利用し、表現が多彩なものになっている。 a：（技能） モチーフをよく観察し、葦ペンの持つ線の多様性を活かした作品となっている。 a：（知識）線の濃淡や描き方など、線が表す効果を理解している。 b：（発想や構想）与えられたテーマから自分らしい表現は何か、自身の主題を考察し、追求している。また、その主題を表現するため、線の表情や描き方を工夫し、表している。 c：（鑑賞）表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的、積極的に取り組もうとしている。	作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 完成レポート 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿
三学期	自立する木工パズル	【デザイン】 【木工】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 条件をふまえデザインを考える ・木材に転写し、糸鋸で切断する。 ・紙やすりで整える ・着色、ニス塗り ・完成レポート ・相互鑑賞	a:(技能) 素材の持つ制約を理解し、かつ自立する条件を満たしたデザインを考えることができる。 a:(技能) 木材のもつ特性と用具の使い方を理解し、適切に使用して制作している。 a:(知識) 形や色彩など、造形の要素の働きや全体のイメージでとらえることを理解している。 b:(発想や構想) 素材の持つ制約と自立する条件を同時に満たすデザインを独創的に考察し、個性を発揮したデザイン、着色計画を練っている。 b:(鑑賞) デザインや着色計画について、自分の制作意図や表現の工夫、よさについて他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを説明し、他者の作品の造形的なよさや美しさを感じ取っている。 c:(表現) 素材の持つ制作上の制約や用途などをふまえつつデザインすることに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 c:(鑑賞) 主体的に作品の造形的なよさや美しさ、作者の表現の意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	アイデア スケッチ 作品 完成レポート 鑑賞レポート	アイデア スケッチ 作品 完成レポート 鑑賞レポート	活動の様子 アイデア スケッチ 作品 完成レポート 鑑賞レポート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	自分マークを使ったペーパーバッグ制作	【デザイン】【鑑賞】 「作品を持ち帰るマイバッグをつくろうPart.2」 ・アイデアスケッチ ワークシートを使って、自分のシンボルマークのデザインを各自で考える。 ・制作(ステンシル) 型紙シートを作る。 配色をよく検討し、ステンシルする。 ・発表と鑑賞	a:(技能) 材料や用具の特性を理解し、合理的に制作をすすめている。 a:(技能) 技法の持つデザイン上の制約を理解し、美しく型紙シートを加工することができている。 a:(知識) 形や色彩、シンボルマークの効果を理解し、客観的な視点を持ってデザインを捉えることができている。 b:(発想や構想) 目的と条件、自分らしさを追求したデザインであり、技法の持つ制約をふまえつつ独創的に構想を練っている。 b:(発想や構想) 伝えたいイメージから発想した配色計画により、技法の特性を生かした構成の計画を練っている。 b:(鑑賞) 自分の作品の制作の意図について、客観的な視点を持って説明し、他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取っている。 c:(表現) ステンシル技法の持つ制約や特徴を理解し、主体的にデザインを考えようとしている。 c:目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	アイデア スケッチ 図案 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	アイデア スケッチ 図案 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 アイデア スケッチ 作品 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿
	1年間を振り返る	・「ポートフォリオ」制作 ・相互鑑賞	c:1年間の美術での学びを主体的に振り返り、学習の成果や反省点などを見つけようとしている。			活動の様子 学習の記録簿

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度